



MS341-28028・MS341-28029 フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はエスクァイア用TRDフロントスポイラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は上記TRDフロントスポイラーの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

品番・適合一覧表

品番	塗装色	備考
MS341-28028-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	エスクァイア 全車 '14.10~
MS341-28028-C0	ブラック (202)	
MS341-28028-C2	スパークリングブラッククリスタルシャイン (220)	
MS341-28028-D0	ホルドマイカメトリック (3R9)	
MS341-28029-NP	未塗装品(プライマー処理品)	

*別売りデイトムランニングランプ (MS403-28001)の装着は、本商品との同時装着が必須になります。
すでにフロントスポイラーを装着している車両への追加の装着は出来ません。

構成部品一覧表

品名	品番	個数	備考
フロントスポイラー		1	
タッピングスクリュー		4	M5×16
Jナット		4	M5用
黒フィルム		2	
型紙		1	
取付・取扱要領書(本書)		1	本書は大切に保管して下さい。

以下、MS341-28029-NP(未塗装品セット)のみに同梱

品名	品番	個数	備考
エンブレム		1	
モール		(各2)	黒/グレー L=650mm
モール		2	黒 L=100mm
リベット		1	黒色
PACプライマー		1	K-500
別ピース		1	
ブラックアウトフィルム RH		1	
ブラックアウトフィルム LH		1	



型紙



以下、MS341-28029-NP(未塗装品セット)のみに同梱



トヨタ テクノクラフト株式会社

〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地 TEL.(045)540-2121 FAX.(045)540-2122

取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

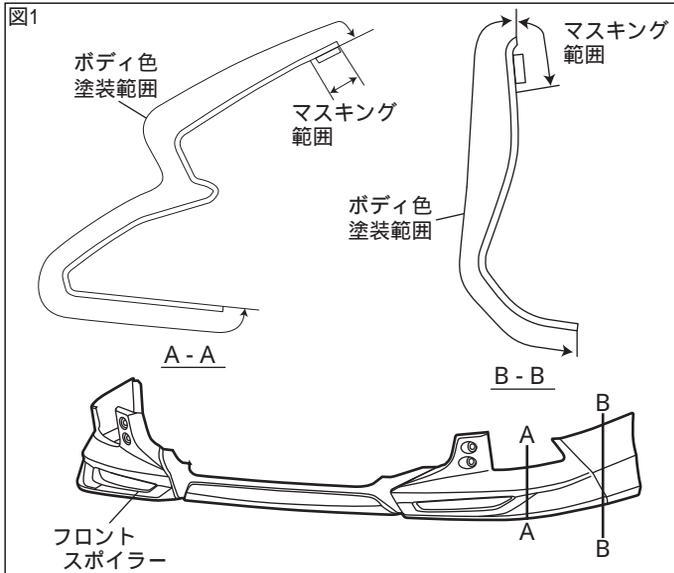
 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所で作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付け初期は、各タッピングスクリューが緩みやすいので、数キロ走行後には必ず増し締めを行ってください。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けてください。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ず専門の整備工場で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車（株）発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **注意** 未塗装品セット（MS341-28029-NP）は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。塗装後の乾燥時、乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意して下さい。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定して下さい。
-  **注意** 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、イソプロピルアルコール又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
-  **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
-  **注意** 車両へのフロントスポイラーの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** 両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付作業前に両面テープ部及び取付部をドライヤー等で約40 程度に暖めて下さい。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS341-28029-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



フロントスポイラーの塗装

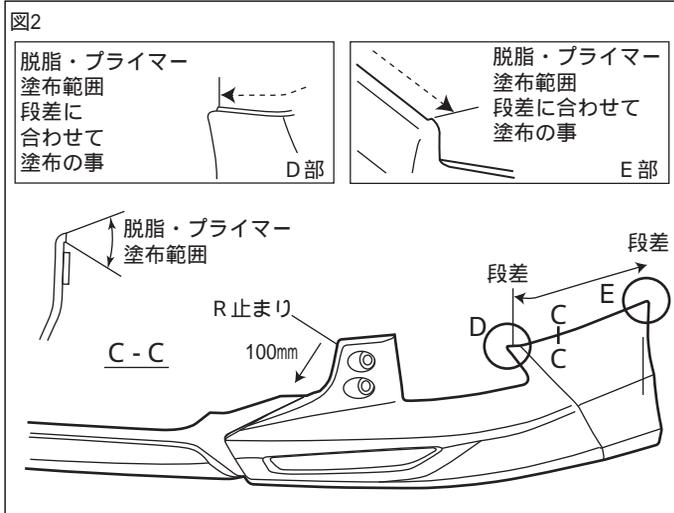
本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 図1のようにフロントスポイラー を車両色に塗装する。

⚠注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール(以下IPAという)又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

⚠注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠注意：乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

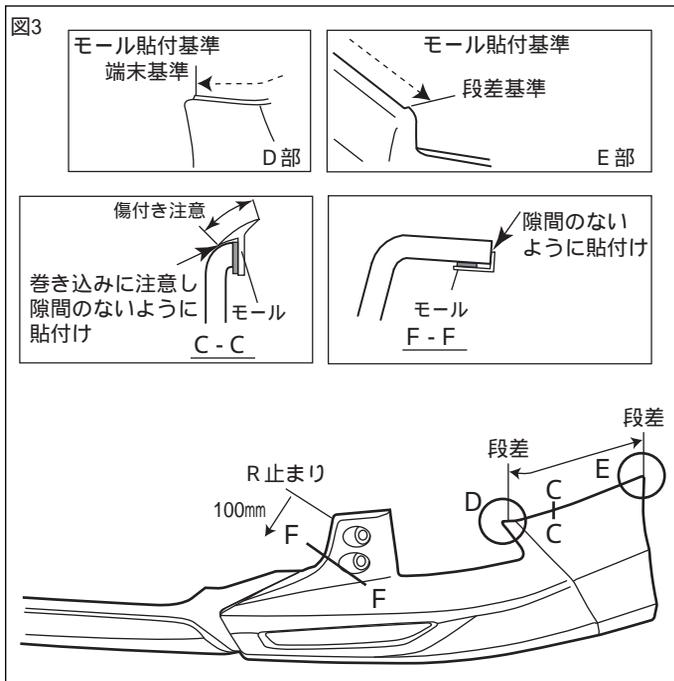


モールの貼付け

1. 図2のようにモール貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマー を塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残し、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。



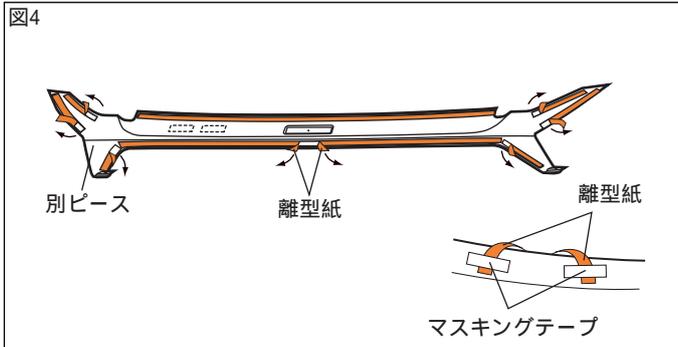
2. 図3のようにフロントスポイラー に、モール、モールの両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。

{ 49N (5kgf) 以上 }
モール は長めに設定されているので、長さに合わせてハサミ等で切り落とす。

⚠注意：モール は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モール色を選択し貼付けてください。

⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めて下さい。

図4



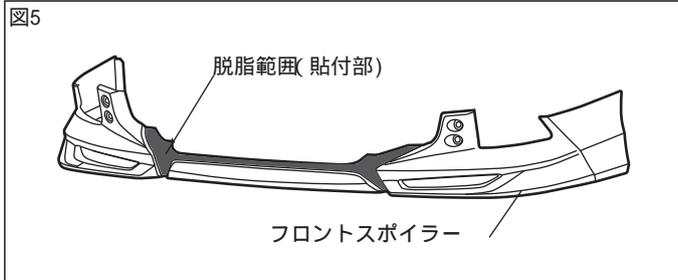
別ピースの取付け

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

- 1.別ピース 両面テープの離型紙を、図4のように矢印の方向に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表に貼付ける。

△注意：指示部以外の両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

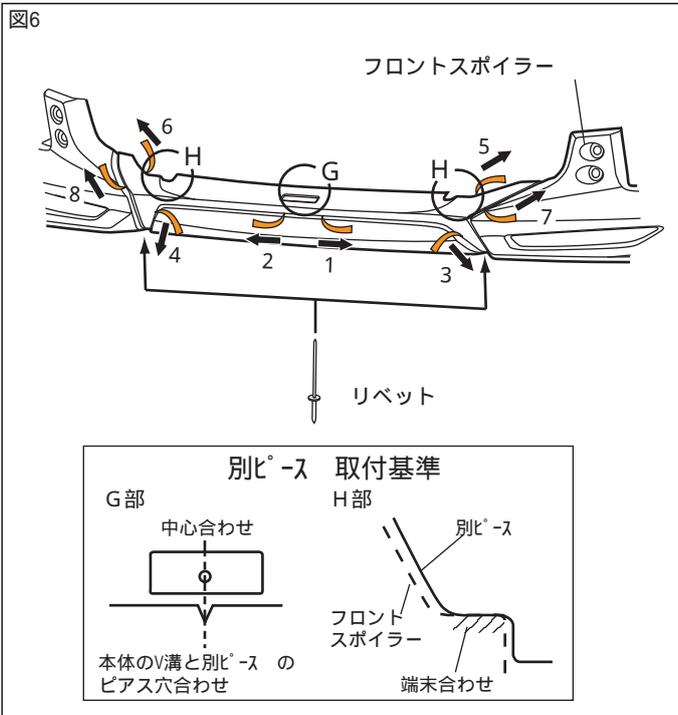
図5



- 2.図5のように別ピース 貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

図6

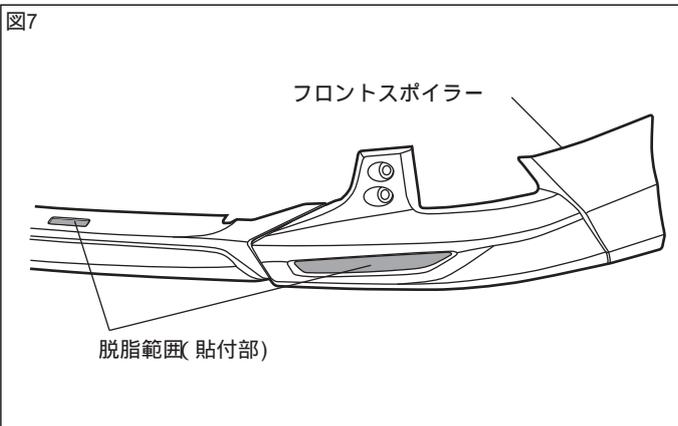


- 3.図6のようにリベットで別ピースを取り付ける。

- 4.図6のように、G部のフロントスポイラーのV溝と別ピースの穴位置とH部の端末が揃っているか確認する。両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。
{49N(5kgf)以上}

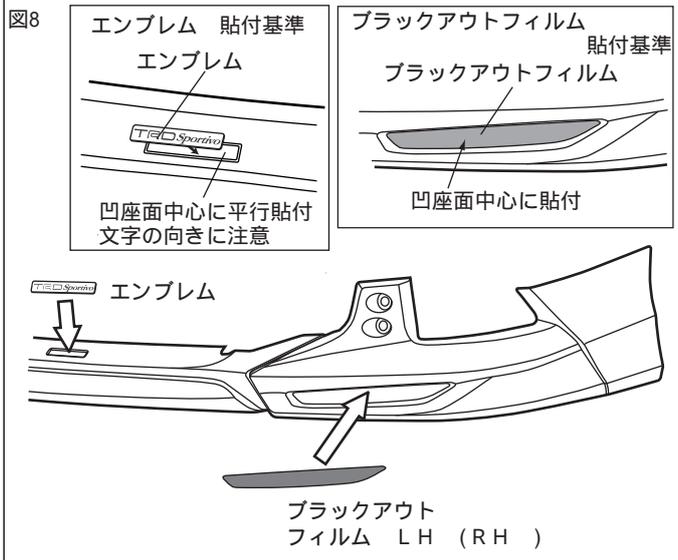
△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付作業前に両面テープ部及び取付部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

図7



- 5.図7のようにエンブレム およびブラックアウトフィルム貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

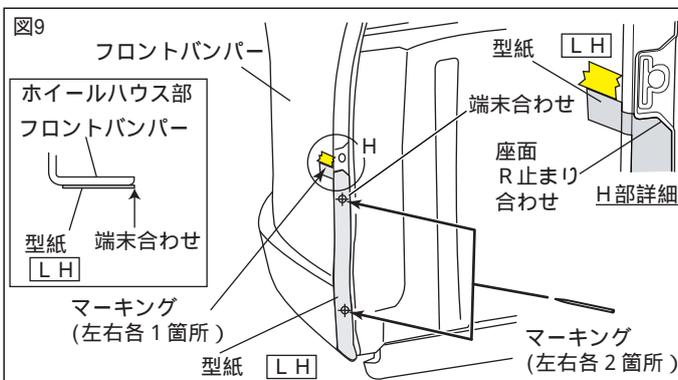
△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。



ブラックアウトフィルムの貼付け

- 図8のように脱脂した座面にブラックアウトフィルムを貼付ける。

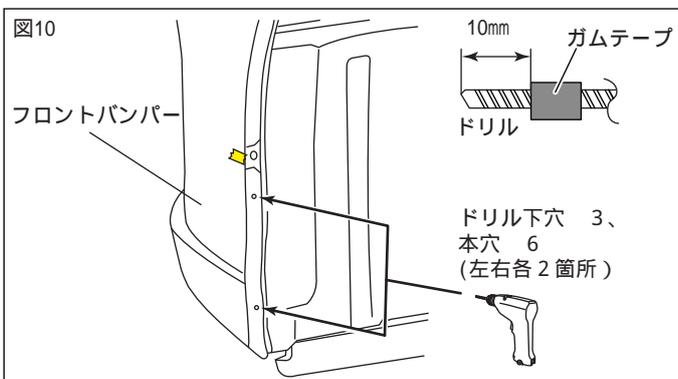
アドバイス：エンブレム・ブラックアウトフィルムの貼付位置は凹座面とのスキ全周が均一になる様に、貼付けてください。



取付準備

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

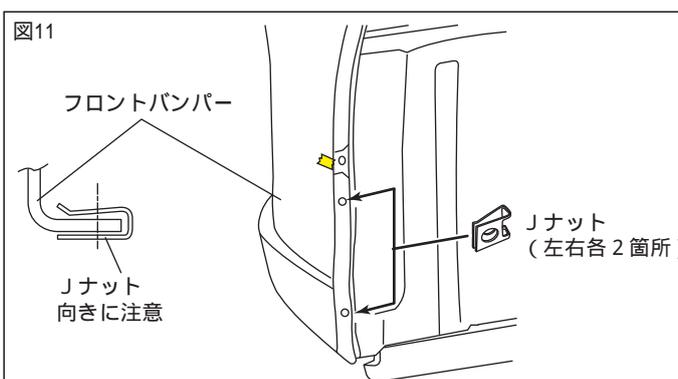
- 型紙 **LH**、**RH**を切り取り、図9のようにフロントバンパーのホイールハウス部に貼り付けマーキングする。
(左右各2箇所)
- 図9のようにフロントバンパーに高さ位置をマスキングテープ等でマーキングする。
(左右各1箇所)
- 図10のように 3、6のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、3のドリルを使用してホイールハウス部のマーキング位置に下穴をあける。
(左右各2箇所)
- 図10のように下穴に 6のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(左右各2箇所)



アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

注意：作業時は保護メガネを着用してください。

注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

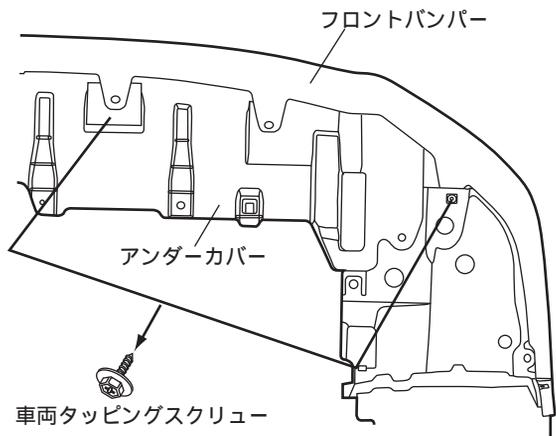


- 図11のようにフロントバンパーホイールハウス部にJナットを差し込む。
(左右各2箇所)

注意：Jナットの差し込む向きに注意して下さい。逆に取付けるとタッピングスクリューが取り付けなくなります。

図12

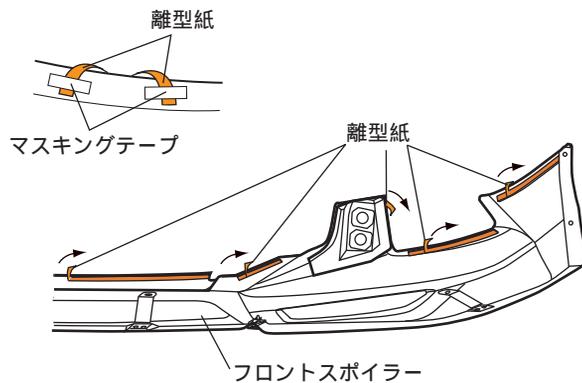
下面視



6. 図12のようにフロントバンパー下面を固定している車両タッピングスクリューを取り外す。
(左右各2箇所)

⚠注意：取外した車両タッピングスクリューは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

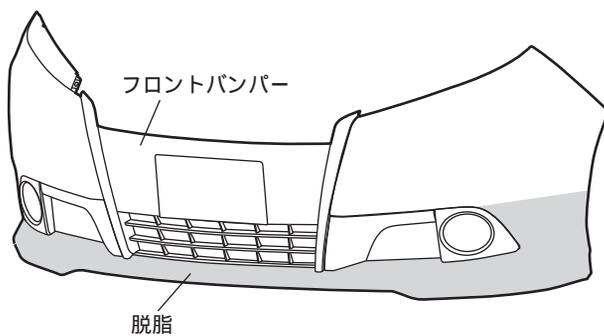
図13



7. 図13のようにフロントスポイラーの両面テープの離型紙を、矢印の方向に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。
(左右各5箇所)

⚠注意：指示部以外の両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

図14

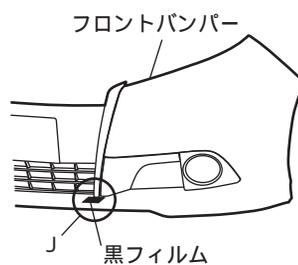
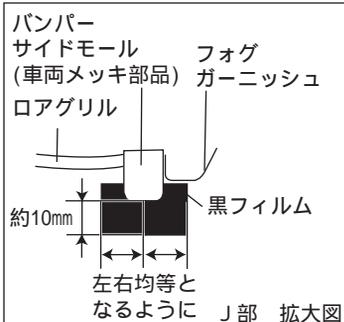


8. 図14のようにフロントバンパーのフロントスポイラー取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

⚠警告：ボディコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください

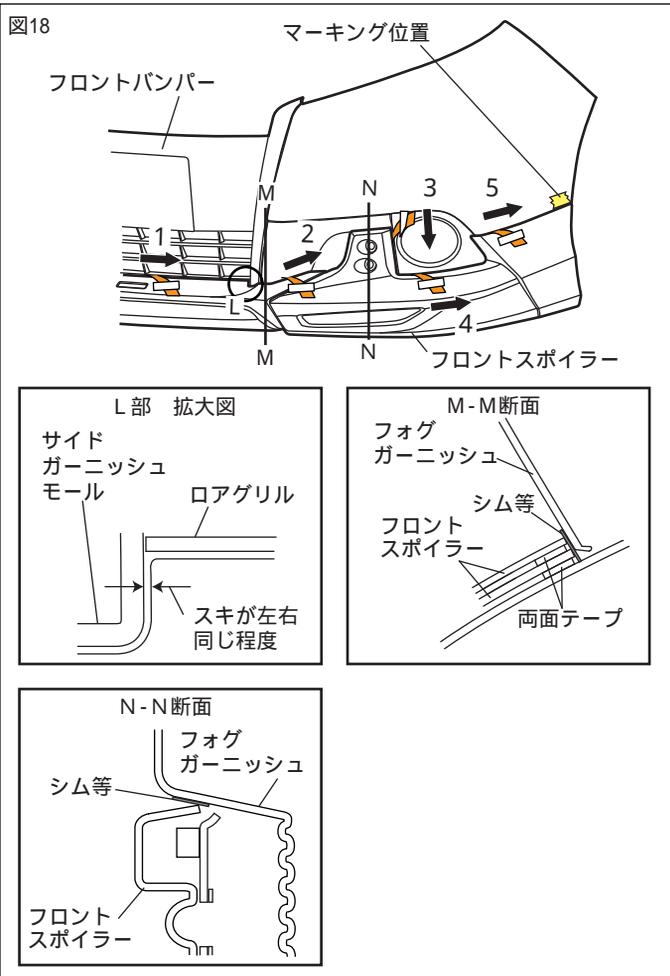
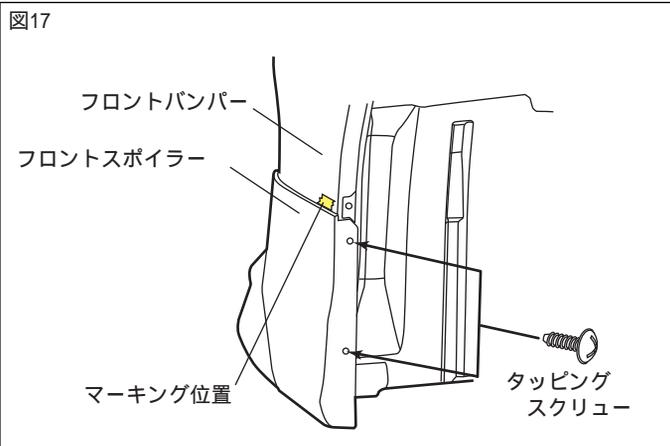
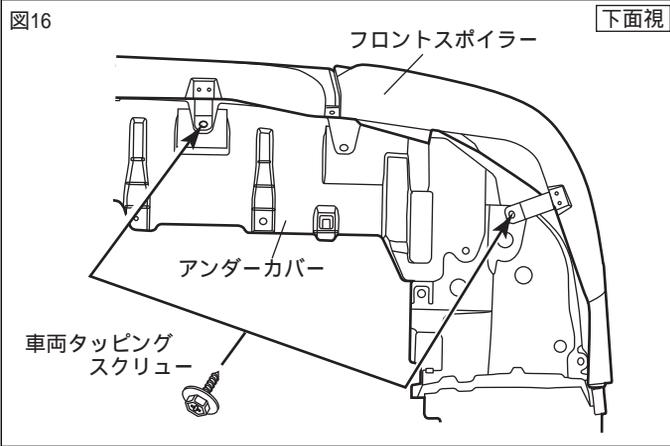
⚠注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

図15



9. 図15のようにフロントバンパーとバンパーサイドモールのスキマに、拡大図に示すように、黒フィルムを張り付ける。

👉アドバイス：バンパー先端を少し下方へ押し下げるとスキマがあります。



取付要領

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. フロントスポイラー をフロントバンパーにかぶせて、図16のように車両タッピングスクリューで仮締めする。

(左右各2箇所)

2. 図17のようにフロントバンパーにフロントスポイラー を合わせ、ホイールハウス部をタッピングスクリュー で仮締めする。

(左右各2箇所)

△注意：タッピングスクリュー の仮締めは、フロントスポイラー の高さ調整が出来るよう動く程度に軽く締め付けること。

3. 図18の断面図を参考にフロントスポイラー と Fog ガーニッシュの間M・M・N・Nに厚さ1mmのシム等を挟み、L部を参考に左右のズレ、その他隙が無いか確認し、両面テープの離型紙(左右各5箇所)を左図番号順に剥がしながら上部モール端末をマーキング位置に合わせながら、貼付け、確実に圧着する。

{49N(5kgf)以上}

👉 アドバイス：厚さ1mmのシムをご用意してください。無い場合は、厚さ約1mmのワッシャー等で代用してください。

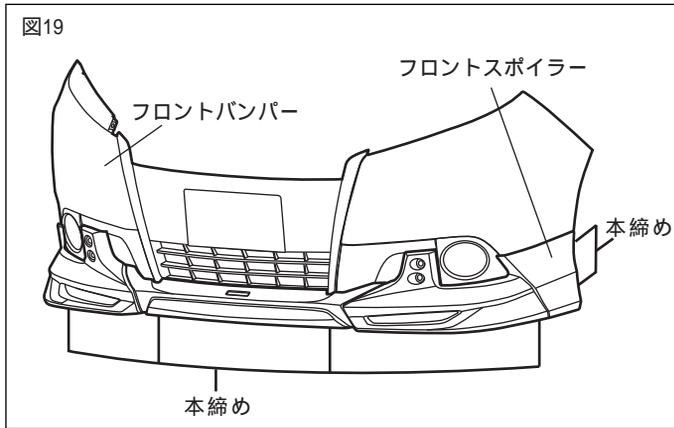
△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めて下さい。

△注意：センター部の両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠️警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となります事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。



4. 図18のように仮締めしておいた下面の車両
タッピングを本締めする。
(左右各 2箇所)
5. 図18のように仮締めしておいたホイールハ
ウスのタッピングスクリュー を本締めす
る。
(左右各 2箇所)

取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラーがスクリューにて車両に確実に取付けられているか点検する。
2. フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。



MS403-28001

デイトイムランニングランプ

取付・取扱要領書

この度はエスクァイア用TRDデイトイムランニングランプをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は上記TRDデイトイムランニングランプの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

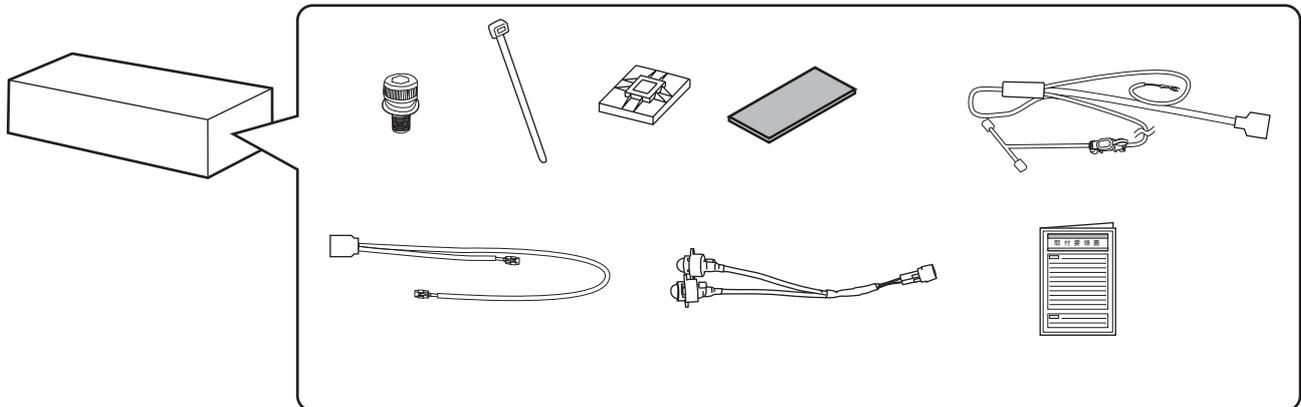
品番・適合一覧表

品番	適合	備考
MS403-28001	MS341-28028/9	エスクァイア 全車 '14.10~

本商品の取付けにはフロントバンパー構成品（フォグランプガーニッシュ）の一部削除が必要となりますので、別売りフロントスポイラー（MS341-28028/9）との同時装着が必須となります。
取付けの際は、フロントスポイラーに本商品を組付けてからフロントバンパーに装着してください。
すでに別売りフロントスポイラー装着車の場合、追加装着は出来ません。

構成部品一覧表

	品名	品番	個数	備考
	デイトイムランニングランプセット		1	~ 同梱
	ボルト		8	3×6
	結束バンド		20	1=140
	タイラップベース		3	
	スポンジテープ		3	50×100
	ハーネスA		1	ユニットボックス付
	ハーネスB		1	LED接続ハーネス
	灯体		2	
	取付・取扱説明書		1	本紙



取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

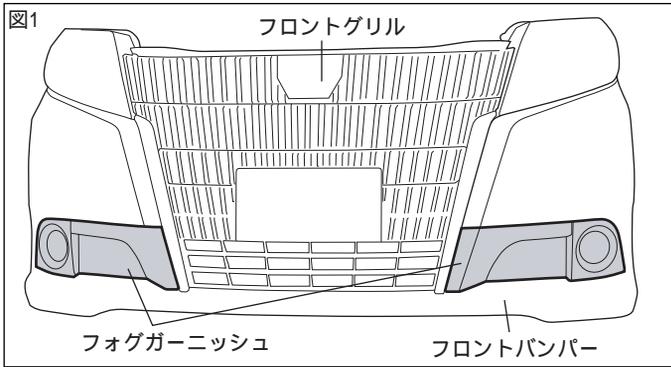
 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所で作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けてください。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ず専門の整備工場で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **注意** 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、イソプロピルアルコール又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
-  **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
-  **注意** 車両へのフロントスポイラーの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** 両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付作業前に両面テープ部及び取付部をドライヤー等で約40 程度に暖めて下さい。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。
-  **注意** 本商品は別売りのフロントスポイラー（MS341 28028/9）との同時装着が必須となります。すでに別売りフロントスポイラーの装着車へは、追加装着は出来ません。

LEDデイトタイムランニングランプ取り付けについて

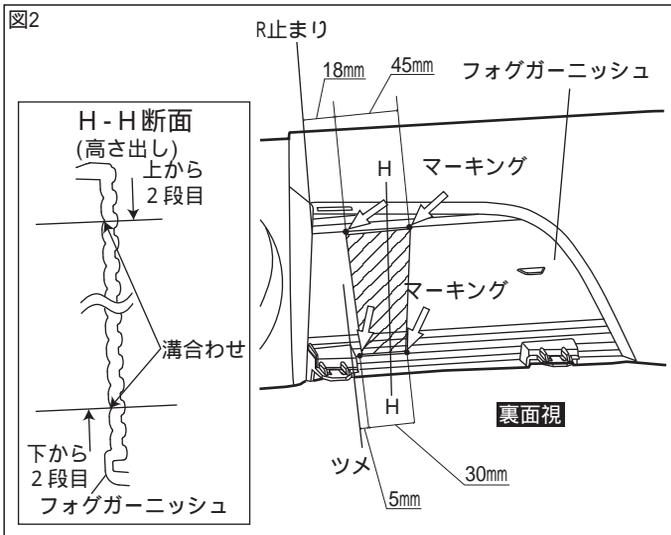
下記は、LEDデイトタイムランニングランプの準備作業、装着作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。本取付・取扱説明書は、主にLH側の作業を示しております。RH側も同様に作業してください。



フォグガーニッシュの穴あけ

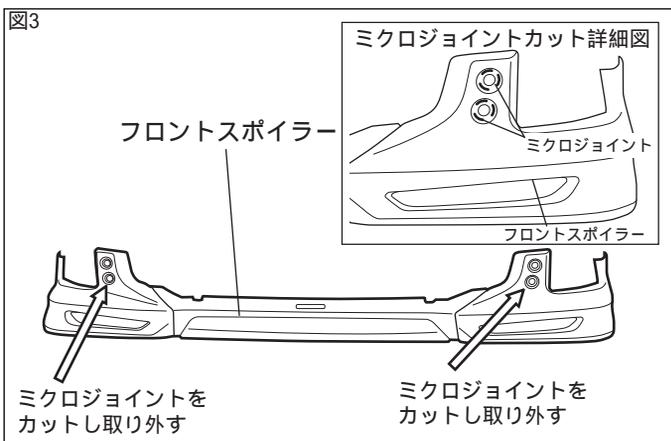
1. バッテリーの⊖端子を取り外す。
2. 該当車両の修理書に従い、フロントバンパー（フロントグリル含む）及びフォグガーニッシュを取外す。

△注意：取り外した車両部品は再使用しません。



3. 図2の寸法にて、フォグガーニッシュ裏面の形状に合わせてマーキングする。（左右各4箇所）
4. フォグガーニッシュのマーキング位置（4箇所）を繋ぎ、斜線部をエアソー等で切り取ってください。

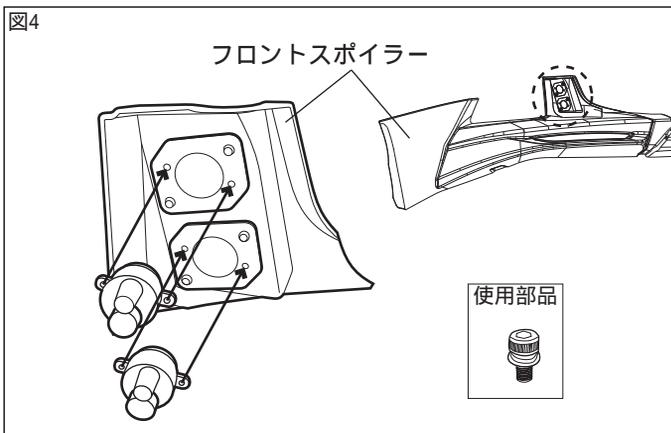
△注意：・加工時にマーキング位置からズレないように注意してください。
・加工時、車両部品の取り扱いに注意してください。
・カット部のバリ、シャープエッジを取り除いてください。



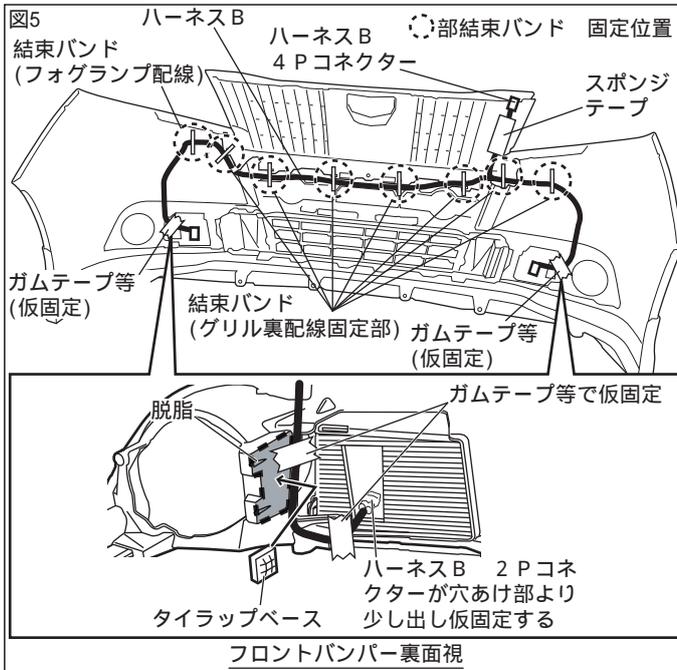
フロントスポイラー LEDデイトタイムランニングランプの 取り付け

1. 図3を参考に、別売りのフロントスポイラーマイクロジョイントの点線部をカッター等で、カットし、取り外してください。

△注意：カットする際に、怪我に注意してください。
又、フロントスポイラーへの傷つきに注意してください。

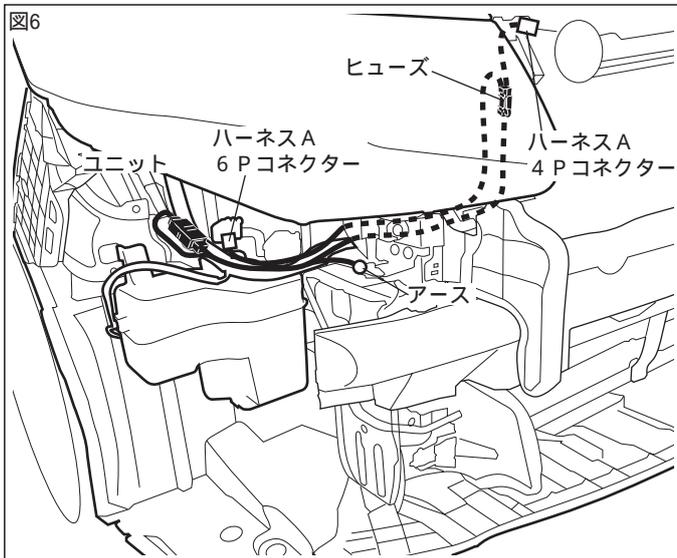


2. 図4を参考に、灯体をフロントスポイラーにボルトで取り付けてください。



フロントバンパー内配線の取り回し

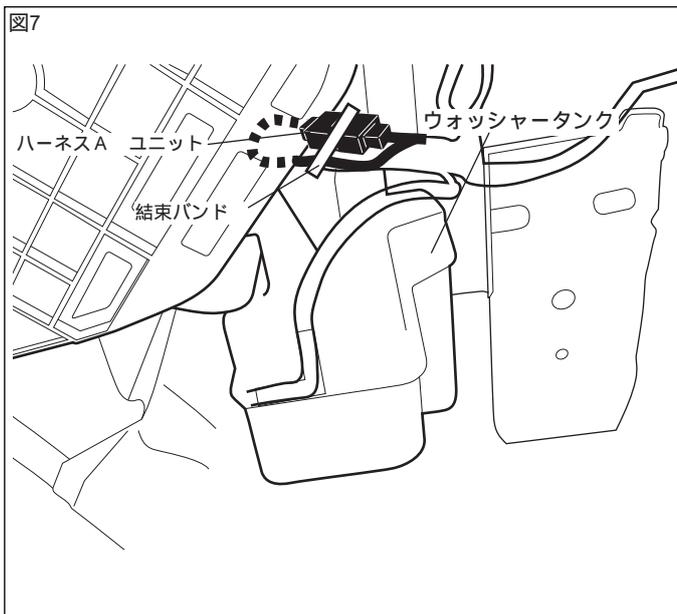
1. 図5を参考に、ハーネスB を車両配線に沿って引いてください。
2. 図5を参考に、フォグランプ横のバンパー裏側(破線部)を脱脂後、タイラップベースを貼り付ける。(左右各1箇所)
3. 図5を参考に、結束バンド、スポンジテープ(脱脂後貼り付け)でハーネスBを固定してください。
4. ハーネスBの2Pコネクタが穴あけ部より出しゴムテープ等で仮固定してください。



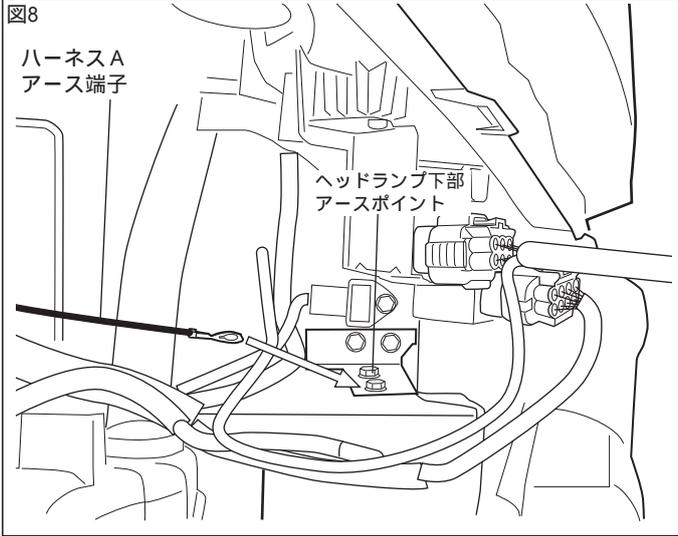
配線の取り回しと接続

1. 図6を参考に、ハーネスA を車両配線に沿って各部品が図6の位置にくるように引いてください。

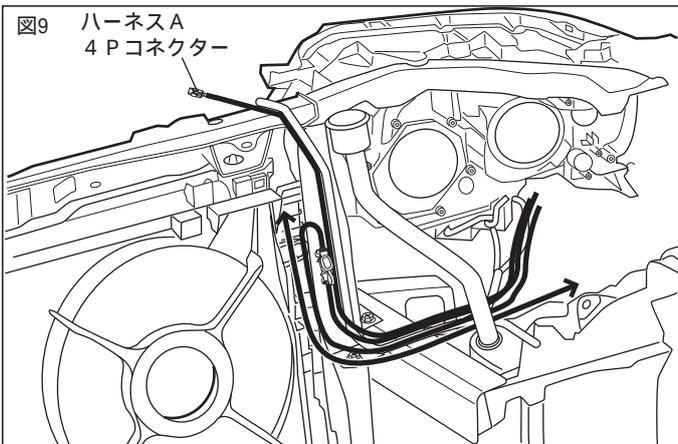
⚠注意：ハーネスの取り回し経路上に、鋭利なエッジが無いようにしてください。



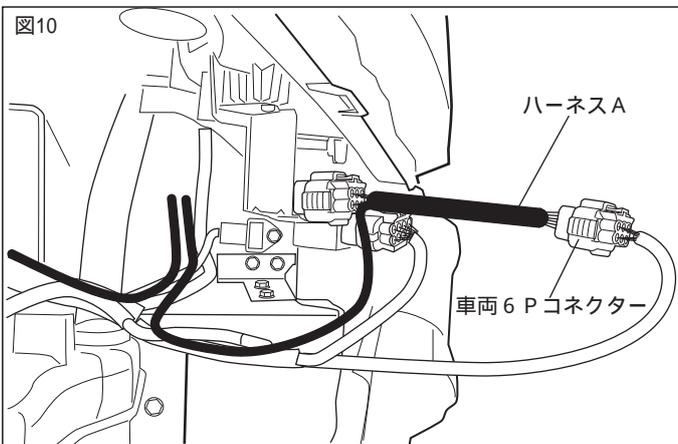
2. 図7を参考に結束バンドでハーネスAユニットを車両配線に沿って固定してください。



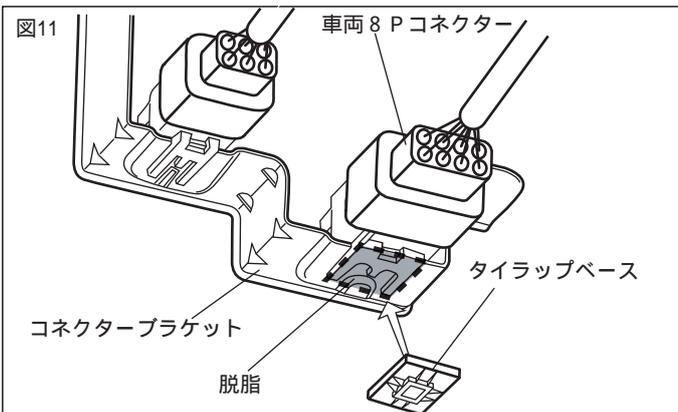
3. 車両配線に沿わせながらハーネスA のアース端子を車両のアースポイントまで引き、アースポイントに接続し、8.5 N・mで締めつけてください。



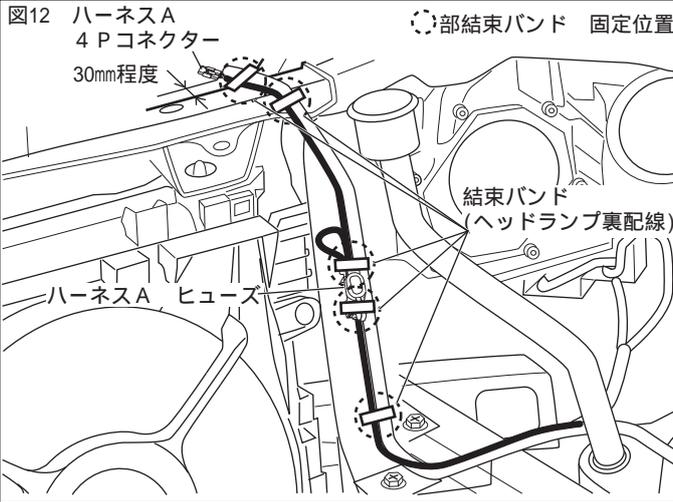
4. 図9を参考にハーネスA を車両配線に沿ってラジエター側からウォッシャータンク側に引き廻してください。



5. ヘッドランプ下部の6 Pコネクターを外しハーネスA の6 Pオス、メスコネクター部を車両のコネクターに吻合させる。

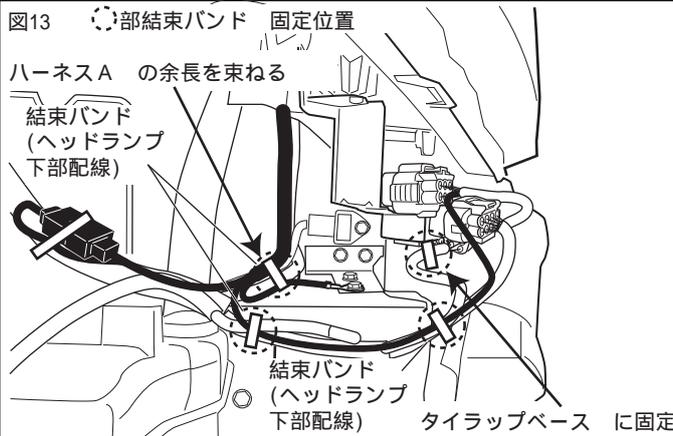


6. ヘッドランプ下部の8 Pコネクターの取付けブラケットの裏側(破線部)を脱脂後、タイラップベースを貼り付ける。

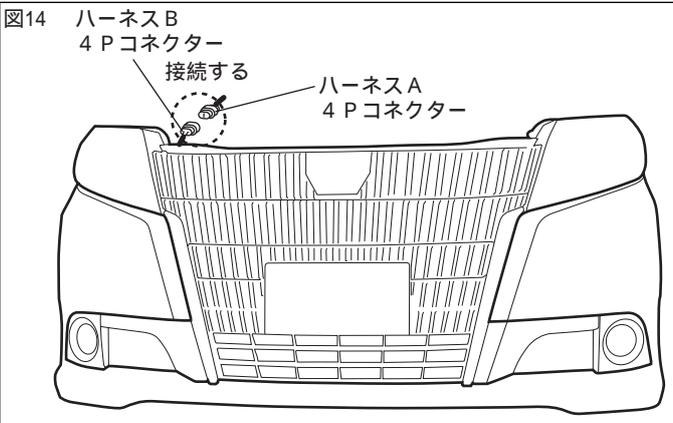


- 7.左図を参考にしハーネスA 4 Pコネクタがラジエタ - サポートより30mm程度出る位置に合わせ指示部を車両配線へ結束バンド で固定する。

△注意：ヒューズ部への固定はヒューズの溝の部分に掛かるようにしてください。



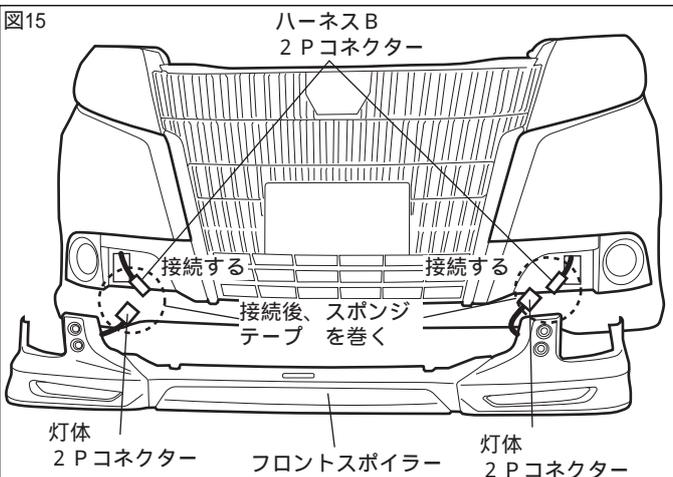
- 8.左図を参考にハーネスA を車両ハーネスとタイラップベース に結束バンド で固定、及び余長処理をする。



接続と復元

- 1.ハーネスA 4 PコネクタとハーネスB 4 Pコネクタを接続する。
- 2.フロントバンパーを復元する。

△注意：車両部品の復元時、車両配線・製品ハーネスのかみ込みに注意してください。

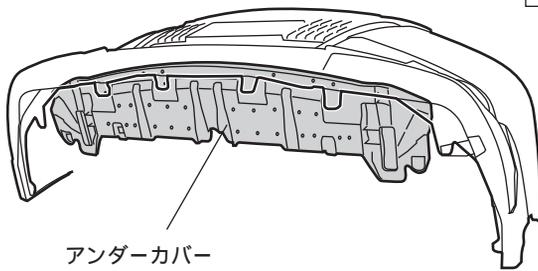


- 3.フロントスポイラー付属の取付説明書を参照し、灯体 コネクタとバンパー側のハーネスB コネクタを接続後、接続部にスポンジテープ を各1枚巻きつけてください。
- 4.フロントスポイラーを取り付けてください。

△注意：フロントスポイラーを取り付ける際に、下面の留め点を本締めしないようにしてください。

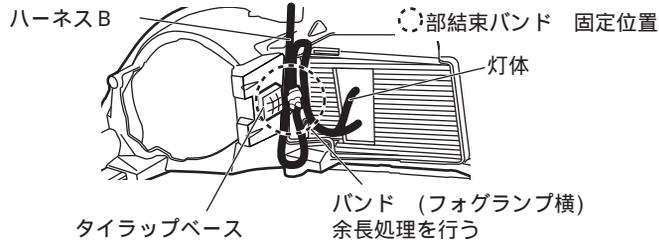
図16

下面視

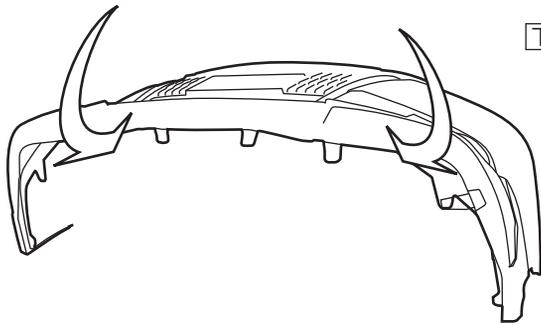


5. 該当車両の修理書に従い、アンダーカバーを取外す。

図17



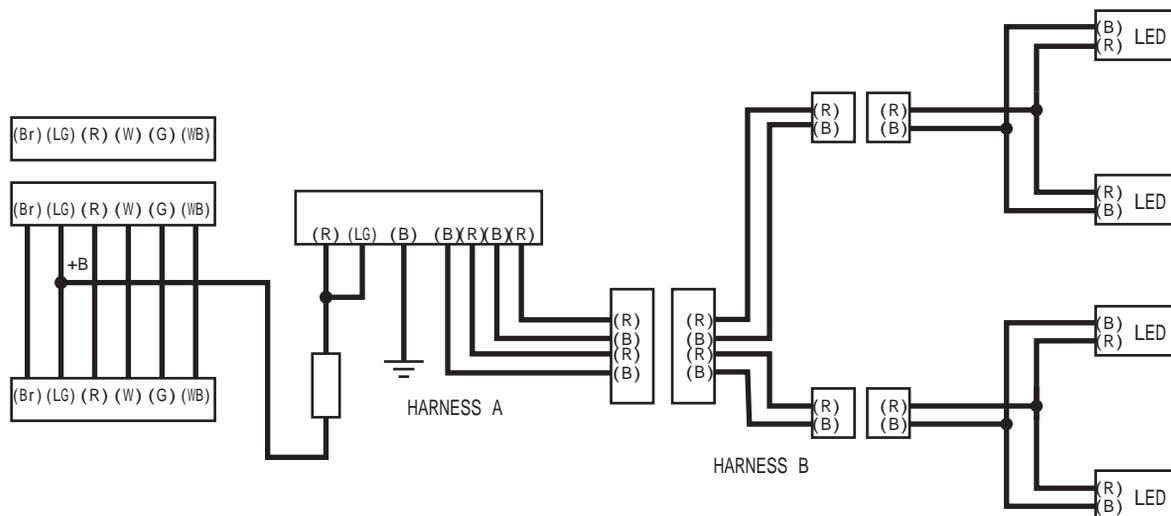
下面視



6. 仮固定しているガムテープ等を除去します。
7. 左図を参考にハーネスB と灯体 の余長分をタイラップベース に結束バンド で固定及び余長処理をする。
8. 該当車両の修理書に従い、アンダーカバーを復元し、フロントスポイラー下面留めを本締めする。
9. バッテリーの⊖端子を該当車両の修理書のトルク値に従い復元し、I GスイッチをONにして灯体 の点灯確認を行ってください。

⚠注意：バッテリー⊖端子は車両修理書に従い確実に復元してください。

図18



ヒューズ交換する際の使用ヒューズは2 Aを厳守の事。

回路図(図18)

取付完了後の点検・注意事項

1. デイタイムランニングランプ、フロントスポイラー、及びフロントバンパーがスクリー・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. 製品、及び車両部品に傷を付けていないか点検する。